

# 原発なくせ抗議行動ニュース

原発ゼロを求めるイレブン  
アクション岡山実行委員会

NO. 26  
2013.03.08

ブログ：<http://b.kenro.jp/> 連絡先：[okakenro@mx1.tiki.ne.jp](mailto:okakenro@mx1.tiki.ne.jp)

電話：086-221-0133 fax：086-221-3595

## 原発再稼働 来年以降に 電力10社 安全審査終了せず

7月施工の新安全基準による原発再稼働は、来年以降になる公算が大きいことが3日、原発を運転する電力10社へのアンケートで分かった。

原子力規制委員会による原発の安全審査が年内に終わらないと見られている。唯一運転中の関西電力大飯原発3.4号機（福井県）は9月に定期検査入りの予定で、再び全原発停止になる可能性が高い。10社の安全対策費は判明分だけで総額1兆1千億円規模に達する。（3/4 沖タイ）

## 関電年収21%減要求へ 値上げ審査委員会 申請より幅拡大

経済産業省の電気料金審査専門員会は5日、家庭向け電気料金の値上げを申請している関西、九州電力に対し、一般社員の平均年収を関電が約21%、九電が約28%減らすよう求める方針を固めた。両電力の年収は地元の大企業平均を大きく上回っているため、これらを平均並みに下げさせないと、料金値下げへの理解が得られないと判断したとされます。また、顧問や相談役の報酬は、電気料金を計算するための「原価」に入れないことを方針とした。（3/6 朝日）

## 福島原発反対64% 県民調査 全国調査と比して反発強く

朝日新聞と福島放送の共同世論調査で、福島県民の原発事故に対するこれまでの政府の対応は73%が「評価しない」と答え、「評価する」の17%を大きく上回った。原子力発電の利用については「反対」が64%、「賛成」は19%で圧倒的に反対だった。全国調査では「反対」46%、「賛成」37%と意識の差が出た。（3/5 朝日）

## 住民の甲状腺被曝最大104ミリシーベルトと推計

東京電力福島第1原発事故による甲状腺の被曝線量を、環境省の委託チームが典型的な18の避難ルートで推計した。24時間屋外にいたとの仮定で、1ルートだけ、1歳児で最大104ミリシーベルトだったが、そのほかは甲状腺ガンが増えるとされる100ミリシーベルトを下回った。甲状腺被曝が最大だったのは、3月23日朝まで浪江町のつしま活性化センターに滞在し、二本松の安達体育館に避難したルートが最高で1歳児が100ミリ、10歳児が89、成人が53ミリと推定している。なぜ、年齢によって被曝量に違いがあるのかは定かではない。（3/4 朝日）